

瑞穂町 第2回農園活用ワークショップ

開催レポート

開催 概要

瑞穂町の野菜を使ってピザをつくろう！

リニューアルする瑞穂町多世代交流センター「MIZCUL(ミズカル)」には、町のみんなで育てる「だんだん畑」が整備されます。本ワークショップは、瑞穂町の野菜でピザをつくり、食事を楽しみながら、農園のこれからについて語り合います。

日時 令和7年(2025年)2月22日(土) 13:30~15:30

対象 瑞穂町在住・在勤・在学の方

場所 長岡コミュニティセンター 調理室

参加人数 15名【4グループ】(他、傍聴者1名)

企画・運営 アカデミック・リソース・ガイド株式会社 / 井上祐輔 氏(ゲスト講師)

プログラム

事業の共有・オリエンテーション (10分)

だんだん畑の年間計画共有 (20分)

質疑応答 (15分)

ピザづくり (40分)

食事・対話・かたづけ (30分)

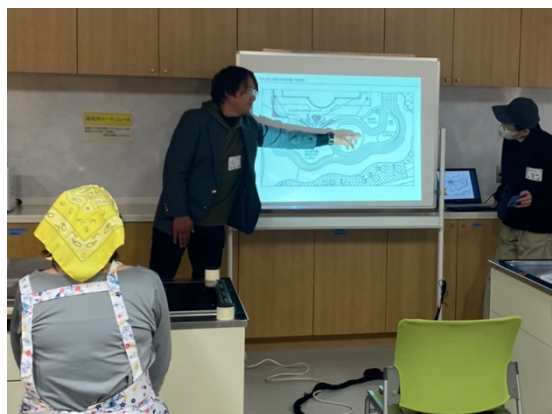
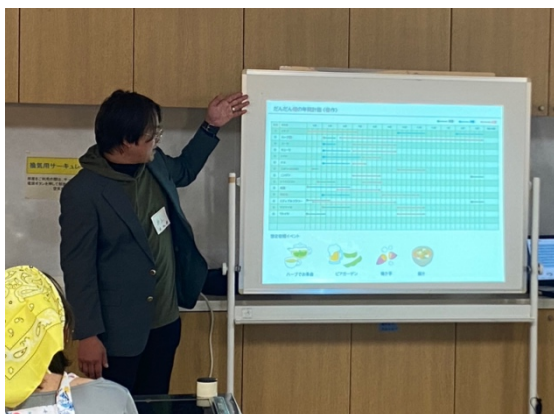
終わりのあいさつ (5分)

ワーク ショップ の様子

今回の農園活用ワークショップ〈第2回〉では、「だんだん畑」の年間計画案を共有し、ピザづくりに挑戦しました。

前半では、まず講師から農園計画案に関する説明を受けました。この農園計画案は、第1回のワークショップで出た意見をもとに「だんだん畑」で育てられそうな作物を記載したもので、季節ごとに収穫イベントも実施できるよう選定しました。参加者からは、植え付けや収穫にどのように関わることができるのかや、水やり等の日々の管理方法について、具体的な質問が飛び交いました。後半では、参加者が4つのグループに分かれ、瑞穂町の野菜を材料に、みんなで意見を出し合いながらピザをつくりました。みんなで作ったピザを食べながら、何を育てるか、どのように畑を活用するか話し合いました。

このワークショップを通じて、参加者は瑞穂町の野菜の特徴やおいしさを改めて認識し、共に食材を選び、調理方法を考える過程を通じて、「MIZCUL(ミズカル)」で栽培する野菜や収穫物の活用方法について多世代の住民が対話し、具体的に考える貴重な時間となりました。食と農(畑)は、人の暮らしの基本であり、この営みを通じて世代を超えた交流や活動が生まれることを、ワークショップを通じて実感しました。「MIZCUL(ミズカル)」の運営でも、食と農(畑)の可能性を最大限に生かしていきます。





アンケートの感想(抜粋)

- ピザがとてもおいしい！たのしかったからきてよかった。またさんかしたい。
- 自分のオリジナルのピザを作れてよかった。
- 瑞穂町の野菜のおしを知りました。
- 瑞穂産の野菜ということで期待がありました。今、キャベツも高いのですが、ベースにちぎって使うと、歯ごたえがあっておいしくいただきました。
- 皆さんたちとグループ作業しながらだと話やすくてよいと思いました。

令和6年度 瑞穂町 第2回農園活用ワークショップ



瑞穂町の野菜を使って ピザをつくろう！

2025年2月22日（土）13:30～15:30

会場：長岡コミュニティセンター 調理室

■内容

リニューアルする瑞穂町多世代交流センター「MIZCUL（ミズカル）」には、町のみんなで育てる「だんだん畑」が整備されます。瑞穂町の野菜でピザをつくり、食事を楽しみながら、農園のこれからについて語り合しましょう！

■ゲスト講師

井上祐輔 氏（東京NEO-FARMERS）

■対象

瑞穂町に在住・在勤・在学の方
ならだれでも参加できます！

■申込み

瑞穂町 高齢者福祉課

2月17日（月）までに電話またはHPから申込み

・ 電話：042-557-7623

・ HP：QRコードから読み込み

■定員

15人程度

■持ち物

エプロン、三角巾（帽子・ハンダナ可）

マスク、ハンカチ



★申込期限
2月17日（月）

